

# 平成26年度学校経営計画書

美咲町立旭小学校

## ○本校のミッション（使命、存在意識）

旭小学校は、平成四年に五つの小学校が統合になった旧旭町内にある唯一の小学校である。地域の方々は、統合時から学校教育の重要性を認識し、教育活動への協力・支援を続けてくださっている。現在も学校支援地域本部事業に多数の方が参加・協力をしてくださり、本校の教育活動推進にはなくてはならないものになっている。

学校は、児童のいのちと未来を預かっている。保護者や地域の期待をしっかりと受け止め、一人一人の児童の豊かな人間形成を目指すとともに、地域に愛着と誇りを持って、主体的に社会に貢献しようとする次代を担う人材を育成しなければならない。

そのために、地域に学校を開き、教育目標の「夢を持ち 未来をひらく 旭っ子」の達成をめざして教職員が日々研鑽に努め、「児童が行きたい学校」「保護者が行かせたい学校」「地域から愛着をもたれ信頼される学校」をつくっていかなければならない。

## ○内外の環境分析

### ○内部環境

- ・児童は、素直で子どもらしく落ち着いた状態にあるが、自己表現が苦手な傾向にある。
- ・保育園から中学校を卒業するまでほぼ同じメンバーで学校生活を送るので、どうしても人間関係は固定化しがちである。
- ・昨年度大規模改修があり、校内環境が大幅に改善された。

### ○外部環境

- ・昔ながらの慣習が多く残っている地域であり、人と人との結びつきは強くて人情も厚い。反面、家庭の役割を十分果たし得ない保護者、連携に関心の薄い保護者の存在もある。
- ・スクールバスでの送迎を行っているが、家庭においては隣近所の友達が離れて住んでいるため、人とかかわり合える場面が少ない。そのため、メディアとの接触が多くなりがちで、学力面でもコミュニケーション能力の面でも課題を抱えている。
- ・地域のボランティアが協力的で、スクールバスを活用した地域学習もしやすい。

## ○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

### ○めざす学校像

- ・一人一人の個性が大切にされ、わかる喜びや学ぶ楽しさを実感できる学校
- ・教職員の風通しがよく、働きがいのある学校
- ・地域に開かれた、安全で信頼される学校

### ○めざす児童像 「かしこく やさしく たくましく」

- ・すすんで考える子（かしこく）

基礎学力を身につけ、進んで学ぼうとする問題意識と意欲をもっている児童  
わかったことやできたことの喜びから、学ぶことの楽しさを知っている児童

- ・自分や周りの人を大切にする子（やさしく）

人とコミュニケーションを取りながら調和のとれた人間関係を築くことができる児童  
人を大切にし、人の役に立つことに喜びを感じることができる児童

- ・最後までやりぬく子（たくましく）

目標を持ってあきらめずにやりぬく強い心もち、やりぬく喜びを知っている児童  
すすんで運動に親しみ、健やかな心と体を育む児童

### ○めざす教職員像

- ・使命を自覚し、絶えず研修に努める教職員
- ・保護者や地域の信頼に応えられる教職員
- ・子どもを愛し、子どもとともに育つ教職員

### ○本年度の具体的な学校経営目標・計画

#### 【学校経営目標】

教職員の共通理解と家庭や地域との協働で、自ら学び、考え、行動できる児童の育成  
「つながる しぼる やりきる」

#### 【指導の重点】

##### (1) 基礎基本の定着と学ぶ力を培う学習指導の充実

- ◎ゴールデザインを明確にしたわかる授業づくりの推進
- ◎朝学習・放課後学習の計画的な実施と繰り返し学習による基礎基本の定着
- 「7つの約束」の徹底による学習規律・学習習慣の定着
- 各学年の「おすすめ本」読破の取組による読書活動の推進
- アウトメディアの取組等による家庭学習習慣づくりの推進

##### (2) 互いに認め合う人間関係づくりの推進

- ◎児童会活動や仲良し班活動の充実によるかかわりづくりの推進
- ◎礼儀やマナーの徹底による「あたりまえのことがあたりまえにできる」習慣づくり
- 「目を見て 笑顔で 自分から」できるようにするあいさつ運動の推進
- 道徳教育・人権教育の充実による相互に信頼し尊重する態度の育成
- 校内掲示の工夫等による個が認められる環境整備の推進

##### (3) 心と体を鍛える体力づくりの推進

- ◎目標を持ち継続的に取り組める運動の機会づくりによる運動の日常化
- ◎教科体育での系統的な指導による体力づくりの推進
- 基本的な生活習慣の確立
- 保健指導の充実による健康・食に関する自己指導能力の育成
- 防災教育の充実による安全に関する危機回避能力の育成